



に い が た
県電だより

〈 新 春 号 〉



『Candle live』

撮影場所・撮影日／湯沢町カルチャーセンター 平成24年 1月

【コメント】

「Candle live」とは、越後湯沢で行われるキャンドルで彩った冬の雪あかりイベントです。

湯沢町商工会青年部が中心となり、中越地震からの復興のために企画され、今年で8回目の開催となります。雪と光の祭典を、ぜひ会場でご覧下さいませ。

撮影者／新潟県電気工事工業組合

魚沼支部 (株)岸本電気 岸野 陽一 氏

表紙写真紹介

新潟県電気工事工業組合



目次

1. 年頭のご挨拶	1
2. 地域懇談会を開催（燕支部・小千谷支部）	11
3. 第29回電気工事業全国大会（四国・徳島）に参加！	12
4. 平成24年度「製・販・工懇談会」を開催	14
5. 各種表彰	16
6. 各支部だより	17
7. 各青年部だより	19
8. 平成25年度 消防関係試験実施計画	22
9. 第一種電気工事士定期講習について	23
10. 組合員の異動・変更	24
11. 組合の保険って？！「全日電工連 グループ共済制度」	25

【表紙写真募集】

- ・県電だより年間発行予定：1月1日、4月1日、7月1日、10月1日（年4回発行）
- ・写真の現物あるいはデジタルカメラで撮影したデータを、発行日の1ヶ月前までに下記までお送り下さい。

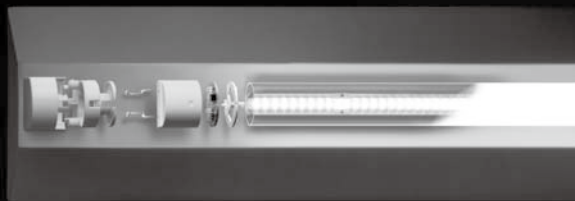
記

〒951-8068 新潟市中央区上大川前通6番町1203 新潟県電気工事工業組合 TEL 025-229-4101

Panasonic
ideas for life

LEDの光に、
かつてない美しさ。

粒々感が少なく、均一で美しい光を実現した
直管形LEDランプ搭載ベースライトです。



革新LED

EVERLEDS

エバーレッズ

※商品画像はイメージです。

お問い合わせ先…パナソニック株式会社 エコソリューションズ社
関東電材営業部 新潟電材営業所
〒950-2031 新潟県新潟市西区流通センター1丁目1番地3 TEL.025-260-7711
詳しくはホームページで www2.panasonic.biz/es/everleds/



年頭のご挨拶

2013年 年頭挨拶

理 事 長
小 林 功

新年明けましておめでとうございます。謹んで新年のご挨拶を申し上げます。日頃は当工組の事業運営に格別のご協力を賜りまして、心より厚くお礼申し上げます。

さて、一昨年に発生いたしました「東日本大震災」から早いもので1年9ヶ月が経過いたしました。官民を挙げて復旧・復興に取り組んでまいりましたが、原発事故避難者の帰宅、被災地のインフラ整備と経済・産業の建て直し、被災者の雇用確保など、今後とも取り組むべき課題は山積しております。

また、電力事情は昨年計画停電ほどではないにしろ、原子力発電の再稼働に目途が立たないことから電力供給不足は解消されず、原子力発電の是非は国民的な議論となり、先の衆議院選挙でも主要政策の一つとして論戦が行われました。「東日本大震災」を契機にエネルギー供給源の在り方が問われており、原子力に代わって再生可能エネルギーにこれまで以上の関心が集まり、節電ばかりではなく電気を効率良く使う省エネが求められております。

しかしながら、私ども電気工事業界にとって、これらの動きはビジネスチャンスであると考えております。太陽光発電を始めとした創エネルギー、各種蓄電システムによる蓄エネルギー、スマートコミュニティなどの省エネは新

たな電気設備市場を生み出し、電気工事業者はこれらの普及・拡大に努めるべき役割があると認識しております。

昨年度の世相を表す漢字には「金」が選ばれ、オリンピックやノーベル賞での活躍・実績、金環日食の観測や、消費税・生活保護など金をめぐる話題が選出の理由でもあり、明と暗、悲喜こもごもの世相が反映された結果でもありました。

業界を取り巻く環境も依然厳しさが続いておりますが、「電気を創り、電気を蓄え、電気を効率良く使う」という新しい流れのなかで、ビジネスチャンスを創りだす所存であります。

昨年、当工組では「組合員に今何が一番必要かを十分に検討し、みんなが幸せになれる業界を目指して」、それぞれの委員会で事業を展開してまいりました。

総務委員会では、組合員にとって魅力ある事業を実施し、組合員の減少に歯止めをかけることを目的に実施した、組合員の実情・ニーズに関するアンケート調査結果にもとづき、組合組織体制の見直しと組合員の新規加入推進について検討を行いました。また、各委員会で検討ができるよう、調査結果を提供いたしました。

経営企画推進委員会では、組合員事業所の保

除加入の現状把握と見直しを行っていただくため、保険カルテを組合員に配布いたしました。また、人材の確保・育成のため、電気工事士キャリアアップセミナー並びにリーダー育成セミナーを開催いたしました。

技術委員会では、技術並びに労働安全衛生関係講習会を県内各会場で開催いたしました。また、組合員による電気自動車用充電設備設置工事と、組合員事業所並びに支部事務所への電気自動車用普通充電コンセント設置に取り組ましました。

引込線事業委員会では、各支部引込線会社並びに協力店を始めとした引込線事業組織における安全・安心の確立のため、安全大会を開催いたしました。また、支部引込線会社の仕事量が減っているため、仕事量拡大に関する検討会を行いました。

さて、当工組は本年創立65周年を迎えます。これまで先輩組合員が築いてこられた歴史の上に立ち、新しい風を取り入れ、この風が追い風になるように組合事業運営に取り組んでまいります。

総務委員会では、引続きアンケート調査結果にもとづき、組合組織体制のスリム化を図るため検討を重ねてまいります。また、組合員新規加入促進のための諸施策についても、取り組んでまいります。

経営企画推進委員会では、組合員の営業活動に役立てていただくため、省エネ関連の各種補助金制度を取りまとめ、情報提供を行ってまい

ります。また、リーダー育成セミナーに代わる次のステップのセミナーを計画いたします。

技術委員会では、環境に配慮した新技術の講習として、スマートハウス・スマートグリッド関係の講習会を計画するとともに、労働安全衛生関係講習会として新たに職長・安全衛生責任者教育を開催いたします。

引込線事業委員会では、昨年度に引き続いて安全大会を開催し、引込線事業組織における安全意識の啓蒙と安全体制の確立に取り組んでまいります。

また、各支部引込線会社の経営改善を図るため、各支部と連携をとりながら取り組んでまいります。

また、毎年各支部の持ち回りで開催しております地域懇談会を始め、いろいろな場で、組合員皆様からさまざまな声をいただいております。少しでも皆様の声を実現するために、東北七県電気工事組合連合会並びに全日本電気工業組合連合会を通して、関係各位に要望してまいります。

終わりに、日頃お世話になっております関係諸官庁・諸団体、並びに東北電力㈱の皆様、今後とも益々のご指導ご鞭撻をお願い申し上げますとともに、組合員皆様のご隆盛とご健勝を心からお祈り申し上げて、年頭のご挨拶とさせていただきます。



年頭のご挨拶

2013年 年頭のご挨拶

新潟県知事

泉田 裕彦

2013年の年頭に当たり、謹んで新春のごあいさつを申し上げます。

昨年は、多くの「感動」に接することができた1年でした。佐渡島では36年ぶりに自然界で新たなトキの命が誕生し、38年ぶりにヒナが巣立ちました。ヒナの愛らしいしぐさは、県民のみならず全国の皆様の心を癒やし、親鳥の懸命な子育ての姿は生まれた命に対する親の愛情の強さを感じさせ、多くの感動を与えました。トキが舞う、美しく豊かな自然は私たちに潤いと豊かさを恵与してくれます。この素晴らしい環境を次の世代に伝えるため県としては、再生可能エネルギーの取組などをさらに進め、持続可能な地域社会づくりに取り組んでまいります。

また、皇太子殿下、高円宮妃殿下のご臨席を賜り開催された全国高等学校総合体育大会において、本県選手は近年最多となる上位入賞を果たしました。全力を尽くし決して諦めず競技に挑む若者の姿は、未来へと向かう夢の輝きに満ち、大変勇気づけられました。本年はさらに新たな一歩、さらなる高みを目指し躍動して頂きたいと希っております。

さて、このところの日本経済は、円高やデフレの継続に加え、海外経済の減速などから、弱めの動きが見られ、依然として先行きへの不安が窺われます。このような状況の中、県としては、県内経済の活性化に向けて、マイナス金利制度による投資の誘発と常用雇用の創出を図るとともに、起業家等による新規創業、第2創業を支援するなど、本県産業の振興に努めてきました。本年も投資需要を喚起する施策を進めるとともに、再生可能エネルギーをはじめとした市場の成長が期待される分野を念頭に、明日の

飛躍に向けた取組を積極的に展開してまいりたいと考えております。

東日本大震災以降、分散型電源として再生可能エネルギーの導入拡大の重要性が増してきており、昨年7月の固定価格買取制度の導入ともあいまって、再生可能エネルギーの導入が一層進んでいるところです。

これらを踏まえ、本県においては、地球温暖化の抑制を図りつつ、次世代のエネルギー選択の幅を拡大させるため、再生可能エネルギーの普及促進を図るとともに、再生可能エネルギー関連分野への本県企業の参入や雇用の拡大にもつなげるよう、「新潟版グリーンニューディール政策」の取組を加速させてまいります。

貴組合におかれましても、環境に配慮した新技術の調査・研究等にも意欲的に取り組まれておられます。太陽光発電等の再生可能エネルギーやLEDの普及促進、新潟県が推進している電気自動車の「街中充電ネットワーク」への積極的な参加とPR、スマートグリッド等新技術への対応など、再生可能エネルギー・省エネルギー関連事業の推進に向けて活発な取組を展開されておられることに、大変心強く感じているところです。今後も、これまで育んだ技術力と貴重な経験をもとに時代の要請に応えながら、優れた技術集団として、大きく飛躍されることを期待いたしますとともに、保安の確保、人材の育成、経営基盤の強化などに努められ、県民生活の安心・安全を担う機関として、引き続きご尽力くださるようお願い申し上げます。

終わりに、貴組合のご発展と皆様のご多幸をお祈りしまして、新年のごあいさつといたします。



年頭のご挨拶

2013年・年頭のご挨拶

東北電力株式会社 上席執行役員 新潟支店長

大山 隆一

あけましておめでとうございます。謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

日頃、当社に対しまして格別のご支援とご協力を賜り、心より厚くお礼申し上げます。

かつて経験したことのない大災害をもたらした東日本大震災から丸2年を迎えようとしております。

当社は企業グループ各社、協力会社等の応援をいただきながら、早期の設備復旧に全力で取り組むとともに、あらゆる方策を用いて電力の供給力の確保に努めてまいりました。

地域の皆さまには、日常生活や経済活動に支障のない範囲で、節電をお願いした結果、当初の想定を上回るご協力をいただき、昨夏を乗り切ることができました。改めて御礼を申し上げます。

今冬につきましては、皆さまからの節電へのご協力を織り込んだ上で、6%程度の予備力を確保できる見通しにありますが、ひとたび火力発電所にトラブル等があれば、需給がたちまち逼迫することも想定され、未だに万全と言える状況にはないことから、引き続き、上手な電気の使い方や無理のない範囲での節電にご協力いただきますようお願い申し上げます。

<「地域との絆」を深め、電力の安定供給を通じた復興>

当社は現在、「震災による設備への甚大な被害」、「電力需要減少」、「原子力事故による直接・間接の被害」、「原子力発電所の長期停止」、「新潟・福島豪雨による水力発電所の被害」などの厳しい経営環境に直面しておりますが、事業の立て直しを図るべく、緊急的な工事費や修繕費の抑制を図るとともに、人件費の削減など経費全般にわたり聖域を設けず、徹底した効率化に取り組んでおります。

このような難局にある当社ですが、創業以来連綿と築きあげてきた地域とともに歩み続けるという経営理念に基づき、「地域との絆」を深め、電力の安定供給を通じ、復興をともに果たしていきたいと考えております。

<お客さまに喜ばれるエネルギーサービスの提供>

当社は、環境性・省エネ性に優れたエネルギーサービスの提案により、節電意識の高まりや防災対策などのお客さまニーズにお応えする活動を推進しています。

家庭用分野では、環境性・省エネ性に優れた「エコキュート」や「ヒートポンプ暖房」などを通じて、家庭におけるエネルギー利用効率向上に取り組んでいくことが必要と考えており、そ

のため、貴組合の皆さまとの更なる連携強化により、環境性・省エネ性に優れた安心で快適な暮らしをお手伝いしてまいります。

<ゼロ災害に向けて>

昨年9月に配電工事において、停電作業中に足場ボルトを取付けしながら昇柱し、変圧器のハンガバンドをかわそうと安全带ロープを外した際に、バランスを崩し地上約7.3m付近から墜落する災害が発生しました。本災害については、既に貴組合の皆さまに情報提供を行っておりますが、同様の災害が発生しないよう、現場の作業員一人ひとりが、「基本ルールは必ず守る」ことを自らが真摯に考え、行動し、安全を最優先した作業に努めていただきますようお願いいたします。

<電気料金改定に向けた検討開始について>

当社は東日本大震災および新潟・福島豪雨による石炭火力と水力発電設備の被害や原子力の

停止により火力燃料費が大幅に増加しており、加えて、被災設備の復旧費用や緊急処置電源等の導入による設備関連コストの発生もあり、会社創立以来の厳しい収支状況にあります。

このため、非常に残念であり、皆さまには大変申し訳なく存じますが、電気料金の見直しについて判断せざるを得ず、本格的に検討を開始しました。

足元の財務状況を考慮しますと、平成25年度の早い時期に料金値上げを実施し、早急に収支の改善を図ることが必要と考えております。

皆さまには大きなご負担をお願いする電気料金見直しの検討に至りましたことについて、改めてお詫び申し上げますとともに、何卒ご理解を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

終わりに、貴組合の皆さまのご家族を含めて健康と安全に留意され、実り多き1年となりますようご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

電気安全の総合コンサルタント 業務内容

- ご家庭やお店などの屋内配線等の安全診断
- ビルや工場の電気設備保安確保と予防保全
- 最新鋭の機器による点検・試験・検査などのお手伝い
- 改正省エネルギー法対応のための各種報告書作成のご支援



<http://www.t-hoan.or.jp/>
ISO9001認証取得

とって も だんき が ほっとする
 (県) 一般 財団法人 **東北電気保安協会**

新潟事業本部

事業本部長 千葉 学

〒950-2002 新潟県新潟市西区青山一丁目17番1号

Tel (025) 230-6913

Fax (025) 230-6914

事業所(新潟西・新潟東・新津・新発田・村上・燕三条・長岡・柏崎・十日町・大和・高田・佐渡)



年頭のご挨拶

組合活動の活性化と組織改革に向けて

総務委員長

本山 秀樹

新年明けましておめでとうございます。新春を迎え、皆様には穏やかにお過ごしのこととお慶び申し上げます。

さて、東日本大震災と福島第1原発事故は今尚被災地に大きな傷跡を残していますが、ようやく本格的な復興の動きも出てきたようであります。あの震災後、節電、電気エネルギーのあり方など私たち業界、組合を取巻く環境は、大変厳しいものがありますが、「安心、安全」な電気の供給、強い組合組織の構築に向け改めて組合のあり方、組合活動の方向性を総務委員会として検討していきたいと思っています。そのために、昨年「組合員の実情・ニーズの把握」のために全組合員を対象にアンケート調査を実施しました。忌憚のないご意見をいただき、ありがとうございました。その結果を見ますと、リーマンショックによる売上の減少が今も大きく経営に影響を及ぼしているようであります。また、後継者の有り、無しを聞いたところ概ね半数の組合員から後継者無しあるいは未定との回答を頂きました。また、組合に希望する事柄としては経費の削減と非組合員との差別化、今後、希望する事業としては新技術関係の講習会、資格取得のための講習会を開催等の回答が多く有りました。総務委員会としてはこのアンケート調査の結果をさらに分析し、組合活動の

中期計画の作成、組合員の高齢化に伴う後継者問題と新規加入者の拾い出しと加入促進、そして、組合組織の見直しを図りたいと考えています。また、当委員会としては、新潟県電気工事工業組合と新潟県が結んだ「災害時の応援業務に関する協定」では今後起こりうる災害に対する災害の予防、応急対策及び災害復旧等が明記され、この協定を昨年も各支部が中心となり幾つかの県内市町村と結びました。今後さらに当組合のイメージアップと社会貢献、地域貢献活動の一環として推進して行きたいと考えています。

恒例の三役、総務委員会と各支部の地域懇談会を昨年は、燕支部と小千谷支部で開催しました。さまざまな問題、組合活動にご意見、ご質問を頂き感謝申し上げます。

最後になりましたが、総務委員会の活動として県工組市町村議員協議会との懇談会を例年開催しています。顧問の佐藤参議院議員、塚田参議院議員、相談役の市川県議会議員、高倉県議会議員を交えての懇談会ですが、政権が変わり、景気浮揚策として公共事業が見直され大きな予算が期待されます。このような現状を踏まえ県工組政治連盟としての意見具申を三役と供に積極的にして参りたいと思っています。組合員皆様のご協力をお願い申し上げます。



年頭のご挨拶

変化をとらえ、変化に対応！

経営企画推進委員長

齋藤 賢

あけましておめでとうございます。日頃は経営企画推進委員会事業に格別なるご理解、ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

経営には「人、物、金」とよく言われますが、我々技術者集団にとりまして、特に「人」、それも電気に関する技術を持った人材が必要なことは言うまでもありません。しかしながら、単に技術を持っているだけでは「飯が食えない」世の中に变化していることも事実のようです。技術を生かし、お客様に喜んでいただける人材の確保、それがこの委員会に託された使命のように感じた昨年でありました。その意味で技術委員会主催の新規雇い入れ教育に続く電気工事士キャリアアップセミナー、そして社内の幹部候補者を対象としたリーダー育成セミナーを、本年も開催する予定にしております。

電気工事士キャリアアップセミナーは、本年で第3回目の開催となりますが、講師の関根先生にお願いし、新潟県独自のカリキュラムで構成されている内容となっておりますので、多くの皆様の受講をお待ちしております。またリーダー育成セミナーは、人材確保推進事業からスタート、我が委員会がそれを引き継ぎ、本年で第8回目の開催となりました。受講者も約120名にのぼりましたが、そろそろ次のステップを踏むべくセミナーに進化させる計画であります。

日本における電力需給の確保が十分でないか、省エネ、創エネ、蓄エネ、そして節電は旬

なキーワードとなりました。LED照明、太陽光発電など、皆様もすでに取り組みされている商材かと思われませんが、業界間の「垣根」が完全になくなり、市場は波乱状態に突入したと言っても過言ではないと思われれます。しかしながらこれらは電気の商材であり、他業界に負けるわけにはいきません。昨年11月に開催しました「製販工懇談会」におきましても、これらが論議されましたが、やはりお客様のニーズをとらえ、信頼関係をしっかりと構築していただき、その上で各種補助金制度をうまく活用し、受注に結びつけていただきたいと思います。各種補助金制度につきましては、昨年委員会内、エコ研究部会におきまして、新潟県内の各種補助金制度を取りまとめましたので、逐次その情報提供を行っていききたいと思います。

保険関係におきましては、昨年、組合員皆様各社へ「保険カルテ」を配布させていただきました。3年毎に各社別、保険の加入状況や補償の内容などをすべて網羅されている内容となっておりますので、加入の現状把握とリスクチェックサービスを活用した補償の見直しを行っていただき、保険料も節約したプランへのご検討をよろしくお願いいたします。

日本はもちろん、世界も激動期に移行しました。変化をとらえ、変化に対応！上へ！前へ！今年も元気よく活動していきましょう。本年もよろしくお願い申し上げます。

年頭のご挨拶



一極集中全面展開！！

技術委員長

齊藤 隆

新年明けましておめでとう御座います。昨年は組合員の皆様方より、技術委員会の事業に御理解と御協力を賜り、無事活動推進出来ましたこと、ここに御礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、まさに混迷の年でなかったかと思えます。加工貿易で生計を立てている日本の経済の一翼を担う家電メーカー各社が赤字のため、日本の家電メーカーが束になっても、韓国のサムスン一社に売上も利益も勝てません。如何したのだろうか日本は…？誠に由々しき事態に陥って居ます。

原子力発電所の断層が如何のこうのと、再稼働が鈍化しております。CO₂削減は如何したの？と言った感じで、どんどん化石燃料が消費されて居ます。東日本大震災のあった、一昨年の燃料費は日本の電力会社全社で3兆円だったそうですが、ちなみにその年の日本の対外経常収支は1年間で13兆円の黒字だったとのこと。昨年は分かりませんが、散々の結果が考えられます。国力がどんどん衰退していく感じです。

私達の商売はと言いますと、さてどうだったでしょう。仕事の量が激減、たまに有れば赤字覚悟の物件ばかり。ここ2～3年は気が抜けなかったのではないのでしょうか？

でも今年こそは、何とか希望の持てる年にしたいものです。安倍総理のデフレ脱却、ターゲット2パーセントのインフレーションと、政府の方針が出ました。誠に大歓迎です。しかし、単なる物価高になる可能性もあるわけです。そうならない為には、私達が斬新かつ魅力

ある新しい商品・技術を、いかに消費者にアピールし提供していくことが重要になるのではないのでしょうか。その気になれば出来ることは沢山あります。私達がエネルギーに関して日本再生の鍵を握る、一番近いエポックメイキング的な職業だからです。

私達は中小零細企業の技術集団です。中小零細だからこそ出来ることがあります。今までユーザーに対してきめ細やかなサービスや、顔の見える営業をされてこられたわけですから、これからは省エネ商品、創エネ商品等のランニングコストとイニシャルコストの対比を数値化し、必ずユーザーに利益がもたされることを伝え、また、社会貢献になることを情熱を持って説明していきましょう。

今年度も昨年同様、技術委員会の活動としては、組合員の役に立てるよう、安全衛生並びに技術関連の講習会・訓練等、従前にも増して力を入れていきます。特に今年は省エネ、創エネ、またそれらを組み合わせた色々なシステム等の技術の早期集収に力を入れ、それを組合員の皆様へ紹介し、講習会など大いに提供していきたいと考えています。皆様の日々の商売も大切なことですが、ここは少々足を止めて休憩するような気持ちで、新しい商売に繋がる講習会、勉強会に参加されることを期待します。

今年こそは「一極集中全面展開！！」、良い年にしていきましょう。



年頭のご挨拶

引込線事業の新たなスタートをめざして

引込線事業委員長

横田良英

新年あけましておめでとうございます。

日頃は、引込線事業に関しまして、多大なご支援とご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。

昨年を振り返りますと、東日本大震災以降の復興には進展が見られず、経済の先行きは不透明な状況、また外交問題も緊張感を増すという非常に不安定な環境でございました。我々の周りを見渡しても明るい兆しは見えにくく、閉塞感に包まれています。このような状況の中、行われた国政選挙は、景気回復を求め現状を打破して欲しいという国民の意思を反映し、政権交代に至ったところであります。引込線関連につきましては、震災以降の東北電力(株)の厳しい経営を踏まえ、工料の値下げ要求に応えざるを得ない状況で、この部分が昨年度に比べ減少しております。引込線会社においては、経営自体が厳しい会社も出てきており早急な対応が求められております。しかしながら、組合員の知恵を総動員すれば必ず道が開けると確信致しております。少しずつではありますが景気回復に向けた動きもみられ、今しばらく辛抱の時期なのかと考える次第です。

この様な環境の中、年度当初より我々の委員会としては、引込線会社協議会の意見を踏まえながら、仕事量の拡大に向けて、関係各位と協議を重ねさせて頂いております。東北電力(株)に

対しお願いしていたNTT管理柱については施工を再開しており、また新たな引込委託のルート開拓、更に災害大国として、地元根差した電気屋として地域貢献の一環である、災害時における協力体制の確立について東北電力(株)と協議を重ね実現に向け進めているところであります。

このような厳しい環境であるからこそ、委員会としては「安全第一」を掲げ、絶対に事故をおこさないということを柱に、「基本を大切に」を実践して参りました。昨年9月には、県工組として初めて「第1回安全大会」を開催させて頂き、多くの皆様方からお集まり頂きその思いを一つにしました。東北電力(株)にもご参加頂き、組合活動のご理解とご認識を深めて頂くのと同時に、高い評価を頂いたところであります。

非常に厳しい社会環境の中ではありますが、様々な変化に対し、スピーディーで適切な対応を取るために、皆様方の知恵をお借りしながらこの厳しい時代を乗り切って参りたいと考えておりますので今後ともよろしく願いいたします。

最後になりましたが、皆様方のご多幸とご健勝をお祈り申し上げまして、新年のご挨拶とさせて頂きます。



年頭のご挨拶

平成25年 年頭のご挨拶

青年部会長

品田 史夫

新年、明けましておめでとうございます。

平成24年を振り返ると、まずは、9月7日に
行われた「新潟県青年部創立30周年記念大会」
が思い出されます。平成23年3月11日の東日本
大震災の影響で、開催を1年延期しました。さ
しあたって足掛け2年間あまりが本大会の準備
期間となりました。ずいぶん長い間準備をして
いたような印象でした。

当日は親組合他、東北七県各青年部会長、県
内青年部の多くの仲間からお集まり頂き、約
250名の盛大な会とすることができました。皆
様のご協力がなければ成し得ない大会となりま
した。また、青年部13支部活動のプレゼンテー
ションは、各支部のオリジナリティーが溢れ、
大変楽しく見させていただきました。10年後、
次回の40周年に期待します。

新発田支部青年部の主管により6月に行われ
た「会員交流スポーツ大会」では、各支部の
チームワークが光った大会でした。東北電力(株)
新発田営業所の方が新発田支部青年部に混ざっ
て、懇親会の受付をされていました。新発田支
部青年部と、電力営業所との繋がりや強さを再
度感じました。新発田支部青年部の皆さん大変
ありがとうございました。

11月に十日町の松之山温泉で開催した「移動
理事会」では、13支部訪問から集めた青年部の
仲間からの意見を、親組合のご協力により回答
を頂きました。この勉強会が何よりの成果で
あったと感じています。当日は小林理事長から
直接ご回答を頂きました。何にせよ、一度のア
クションでは何も変わりません。繰り返し訴え
ていくことが重要であると考えています。十日
町支部の皆様にご大変お世話になりました。

私のわがままで始めた「13支部訪問」は昨年
度の燕支部を皮切りに、4月の佐渡支部までに
13支部を訪問する事ができました。多くの仲間
と直接話げできた事、直接の意見として対外的

にアクションができた事が、何よりの成果と感じて
います。

さて、平成25年のスタートです。キーワード
は、オール電化を継承しつつ「スマートグリッ
ドへの進化」です。EV充電コンセントやLED
普及啓発は序章として、その先にある着地点は
スマートグリッドです。時代は、世の中は、確
実にこちらの方向に流れて行きます。

本年の行事は「青年部製販工懇談会」の開催
を予定しています。メーカー、電材卸、我々組
合三位一体の活動を通して、お互いに利益を生
む形の新潟版を構築できればと考えています。

また、恒例行事になった会員交流スポーツ大
会の舞台は燕、移動理事会は横浜（全国大会に
合わせて開催予定）です。各支部の皆さん、よ
ろしくお願いいたします。

平成25年11月、「第30回電気工事業全国大会」
が横浜で開催されますが、この大会を起点とし
て、全国大会は大きく方向性が変わります。毎
年開催されていた全国大会は、隔年開催となり
ます。

全国大会の間の年は新潟県での全国大会の折
に開催した、技能競技大会の開催となります。
また、会全体の構成は青年部が主体、主役は青
年部です。いかにお金を掛けず、実のある業界
の集まりを創造するか、我々若い力が電気工事
業界をリードする時です。

日本の中央そして新潟県でも政治が大きく変
化しました。これから、本当の日本が進むべき
方向が示されます。新潟県電気工事工業組合青
年部、平成25年は、その先の未来は、私たちが創
造すべきです。

本年が皆様にとって、また、所属する各社に
とって幸多い年でありますよう、ご祈念申し上
げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

地域懇談会を開催

平成24年度の地域懇談会が、燕支部並びに小千谷支部において開催されました。

地域懇談会は総務委員会事業として開催され、支部組合員と県本部役員が組合事業活動全般にわたる意見交換を行い、各支部の実情・ニーズを把握し、より適切な組合運営を図ることを目的に、毎年度二支部を廻って開催されるものです。

懇談会は両会場とも、本山総務委員長の開会、小島副理事長の進行ではじまり、小林理事長より組合の活動状況並びに東北七県電気工事業厚生年金基金、全日電工連国民年金基金の概況等について、各副理事長並びに総務委員長より担当委員会、青年部の活動状況等について説明が行われ、その後、支部組合員との意見交換に移りました。

「燕支部」

10月12日、燕市の燕三条ワシントンホテルで燕支部との地域懇談会が開催され、県本部より小林理事長をはじめ三役・総務委員他12名、燕支部より組合員他27名、合計39名が出席しました。

懇談会では、引込線工事に関する仕事量確保や引込線工料の価格交渉、組合加入のメリット、東北七県厚生年金基金の現状、組合員新規加入推進、理事定数の見直しなどについて活発な意見交換が行われました。



燕支部地域懇談会 有坂支部長挨拶

「小千谷支部」

10月16日、小千谷市のグリーンパークで小千谷支部との地域懇談会が開催され、県本部より小林理事長をはじめ三役・総務委員他9名、小千谷支部より組合員他13名、合計22名が出席しました。

懇談会では、引込線工事会社の運営並びに将来的展望、県本部賦課金軽減の要望、東北七県厚生年金基金の現状並びに今後などについて活発な意見交換が行われました。



小千谷支部地域懇談会 佐藤支部長挨拶



燕支部地域懇談会 支部組合員との意見交換



小千谷支部地域懇談会

第29回

電気工事業全国大会(四国・徳島)に参加!

10月4日、全日本電気工事業工業組合連合会（以下、全日電工連）主催、四国電気工事組合連合会主管、徳島県電気工事業工業組合企画運営による第29回電気工事業全国大会（四国・徳島）が、徳島県徳島市の「アスティとくしま」において、全国の組合員、青年部、御来賓など約1,500名参加のもと盛大に開催され、当工組からは親会5名、青年部6名、事務局3名の計14名が参加しました。

今回で第29回目となる大会は、メインテーマに『語ろう省エネ・環境！クリーンな電気工事業を四国から発信！』、サブテーマに、

- ①高齢化社会にやさしい新技術と新分野を取り込み新しい電気工事業の確立を目指して
- ②LEDのふるさと徳島で熱く語ろう！
- ③次世代へ継承「経営・組織・技術そして信頼を」！

の3つを掲げ、午前中に「意見交換会」、午後からは「基調講演」「大会式典」「交流会」が開催されました。また、会場内ではメーカー展示コーナー、四国物産販売コーナーも併設されました。



会場前にて記念撮影（親会）

午前10時より行われた「意見交換会」には、全国の組合員、青年部合わせ約750名が参加。全77テーブル、3分科会に分かれ、『進化から真価へ』をテーマに、第1分科会では『「経営の真価」定石に学ぶ経営の真価』、第2分科会では『「組織の真価」提言書から見る我々の組



会場前にて記念撮影（青年部）

織像』、第3分科会では『「技術の真価」業界から見た将来のエネルギー像・真のエネルギーとは』について、活発な意見交換が行われました。本意見交換会には、当工組親会から小林理事長、斎藤賢理事の2名、県青年部から品田会長はじめ6名の計8名が参加しました。

続いて、14時より行われた「基調講演」では、白色LED素子のパイオニア的存在でもある日亜化学工業(株)常務取締役の四宮源市氏より『エネルギー問題と照明用LED』をテーマにご講演いただきました。

続いて、15時30分より行われた「大会式典」では、全日電工連の新団体旗奉戴式、後藤田裕四国電気工事組合連合会会長による開会宣言、米沢寛全日電工連会長の主催者挨拶、来賓祝辞、全日電工連会長表彰（組合役員功労）、意見交換会報告、大会決議（別掲）、青年部意見発表、次回開催地挨拶等が執り行われました。

大会式典終了後に行われた「交流会」では、

アトラクションとして本場の「阿波おどり」も披露され、終始和やかな雰囲気の中、全国の組合員、青年部の皆様との交流を深めることができました。

LEDのふるさと徳島で、全国の組合員、青年部の皆様と交流を深めるとともに、省エネ・環

境について大いに語り合った大変素晴らしい全国大会でした。今大会の開催にご尽力されました四国電気工事組合連合会・徳島県電気工事業工業組合の皆様、関係者の皆様、大変ありがとうございました。



意見交換会



大会式典

(別掲)

第29回電気工事業全国大会

「大会決議」

電力供給源のあり方ならびに地球環境保護が社会的に大きく注目されるなか、電気は快適便利なクリーンエネルギーとして、産業の発展ならびに豊かな国民生活を支える中心的なライフラインであることを昨年のも東日本大震災で改めて認識致しました。

このようななか、我々電気工事業界は従来にもまして、国民の電気保安の確保、施工品質の向上に努める使命感と24時間電気を届けるという自負心を強くするところがあります。

本日、多くの組合員が集い、荒々しさと静けさが共存し自然の息吹を感じる鳴門のうずしおの雄大な自然に抱かれながら、阿波踊りで人間の熱い息吹を感じる徳島市において「語ろう省エネ・環境！クリーンな電気工事業を四国から発信！」を大会テーマに開催する本大会において、地域の方々、行政・我々業界が一体となり、平常時における電気保安の確保、災害時における復旧復興の視点から、地域の皆様に安全・安心な生活の基盤作り、また、快適節電・省エネ設備の提案による社会貢献を目指した提案型技術営業の新たな展開、ならびに電気工事業界の今後のあるべき姿について、各界の皆様方のご提

言も頂きながら意見交換会、基調講演を通じ討議致しました。

本日、ここに全国各地から参加した組合員代表・青年部代表の総意として次の通り決議致します。

1. 屋内配線工事の基盤の上に、通信関連設備工事をはじめ、少子高齢化、地球環境保護、安全・安心および快適節電・省エネに配慮した提案型技術営業の展開により、お客様のニーズに応える安心して任せいただける町の電気ドクターを目指す。
2. エネルギー供給源のあり方、原発再稼働、低炭素社会構築への貢献等、益々、我々、電気技術者団体への関心が高まりを見せるなか、電力会社とお客様の最善の方策を提案発信する。
3. 頑張る横に拓げる組合員を支援し、誇りと強い使命感を持った強い組織を目指す。

以上、関係行政、関係団体、関係会社等のご指導・ご支援を頂きながら、これらの課題解決に向けて組合員一致結束して邁進することを決議する。

平成24年10月4日

第29回電気工事業全国大会

平成24年度「製・販・工懇談会」を開催

『変化をとらえ、変化に対応！～オンリーワンへの道を語り合おう！～』をメインテーマに
3つの分科会でグループディスカッション

11月8日、経営企画推進委員会（斎藤賢委員長）事業の一環として、平成24年度「製・販・工懇談会」がホテルイタリア軒において開催された。

今年度は『変化をとらえ、変化に対応！～オンリーワンへの道を語り合おう！～』をメインテーマに掲げ、当工組から三役・技術委員長・経営企画推進委員（エコ研究部会員）・各支部経営委員長・青年部・事務局の27名、新潟県電設資材卸業協同組合から川上理事長はじめ8名、電気機器メーカー3社から7名の計42名が出席した。

本懇談会は昨年度同様、分科会形式をとり、テーマ別に3つの分科会にわかれグループディスカッションを行った。

最初の全体会議第1部では、はじめに当工組小林理事長より出席者への御礼が述べられたのち、「今回で5回目となる本懇談会のメインテーマは『変化をとらえ、変化に対応』を掲げたが、この5年間で政治、経済、色々なものが大きく変化した。この間、政権交代や東日本大震災等色々な出来事があったが、良い方向に変わったというよりも、益々悪い方向に変わってきたと感じている。この様な状況の中、本懇談会が我々の今後進むべき道を模索する有意義なものになれば有り難いと考えている。本日の3テーマの討議結果を見ながら、今後我々が進むべき方向性を一緒に考えていきたい。我々『工』にとって製・販皆様との『絆』は大変重要なものと考えているので、本日はよろしく願います。」と開会挨拶が行われた。

続いて、当工組の斎藤経営企画推進委員長より、「先般10月4日、徳島県において第29回電気工事業全国大会が開催された。また、昨年は第28回大会が岐阜県で開催されたが、両大会で

の意見交換会では経営、技術、そして組織にいたっても『進歩』あるいは『進化』という言葉を盛んに使っていた。これは激動激震、そして価値観の多様化の中、今、我々は立ち止まることなく前へ、そして上へ進まなくてはならないという大変大事なキーワードのように思われる。そのような背景もあり、今年度のメインテーマは『変化をとらえ、変化に対応！～オンリーワンへの道を語り合おう！～』とさせていただいた。また、メインテーマに沿って、本年度も昨年同様、各団体からテーマを設定していただき、少人数制分科会方式をとらせていただいたので、昨年以上に、ご出席者皆様の貴重なご意見を頂戴したい。更に今年は我々工事組合の各



全体会議

支部経営委員長及び青年部にオブザーバーとして出席していただいた。これは、本懇談会が5回目を迎えた中、この輪を広げていきたいという方向性であり、皆様のご理解をよろしく願います。」と趣旨説明が行われた。

全体会議第1部終了ののちは3つの分科会(A・B・C)にわかれ、各団体から1名ずつ選出された座長を中心に、少人数でグループディスカッションが行われた。



分科会A

分科会Aは「製販工で取り組もう!! 節電ニーズに応えるLED照明の普及活動」をテーマとし、LED照明について各団体からの現状把握と報告、問題点の抽出、各団体からの課題解決に向けての問題点排除の方策・意見・提案、そして具体的なアクションプラン等について議論が行われた。



分科会B

分科会Bは「Power Saving商品の拡販について」をテーマとし、太陽光発電とLED照明の販売促進、スマートグリッド等について各団体の現況報告とそれぞれの団体に対する要望、質疑応答を中心に意見交換が行われた。

分科会Cは、「どこまで変われる3E集団!」をテーマとし、製販工のそれぞれの立場において、変化へのスピード感について語り合い、製販工の現状と実態を把握し、どうすれば変われるか、そして今後目指すべきオンリーワンへの道について意見交換が行われた。



分科会C

各分科会終了ののち全体会議第2部に移り、各座長から分科会での討議内容の発表が行われ、引き続き、製販工が一致団結協力し、今回討議された諸課題・諸問題に連携を図りながら取り組んでいくことを確認した。

最後に、新潟県電設資材卸業協同組合の川上理事長より、「私としては今回で4回目の参加となるが、毎回、分科会の中で熱い議論を交わらせていただいている。今回も各分科会でLED照明等について色々な問題提起があったが、我々『販』としても皆様のお役に立てるよう販売努力をしまりますし、皆様のお役に立つ情報を届けてまいりたいと考えているので、今後ともよろしく願います。」と挨拶が行われ、平成24年度「製・販・工懇談会」は終了した。

第26回

消防設備保安功労者表彰

去る11月1日、第26回新潟県保安大会表彰式が新潟県庁講堂で挙行された。

表彰式では、当工組から消防設備保安功労者として当工組理事の南子茂雄氏が、地域社会における消防用設備等の普及推進と、消防設備に係る安全保安管理体制の充実に尽力した功績により、新潟県知事から表彰された。

▼消防設備保安功労者表彰



有限会社 両電舎
代表取締役

南子 茂雄 氏
(佐渡支部)

平成24年度

消防設備保守関係者表彰

去る11月5日、平成24年度の消防設備保守関係者等表彰式が、東京都港区明治記念館で挙行された。

表彰式では、当工組から消防設備保守関係者として当工組副理事長の品田紘三氏が、地域社会における消防設備及び火災報知機等の普及推進、並びに消防設備に係る安全保安管理体制の充実に尽力した功績により、(財)日本消防設備安全センター理事長から表彰された。

▼消防設備保守関係者表彰



株式会社 品田電業社
代表取締役

品田 紘三 氏
(柏崎支部)

第20回

新潟県優秀施工者表彰

去る11月7日、新潟県優秀施工者表彰の表彰式が新潟県庁講堂で行われ、施工成績が特に優秀な施工者が表彰された。

当工組より、株式会社電通社 鈴木一吉氏が電気設備工事の施工管理が優秀であるとして表彰された。

▼優秀施工者新潟県知事表彰



株式会社 電通社
工事部

課長・電気工事管理者
鈴木 一吉 氏

(新潟支部)

村上支部

ソフトボール大会開催

風は少し有りましたが、暖かな10月27日(土)、村安協(村上地区配電工事安全衛生協議会)主催のソフトボール大会が、岩船運動広場で開催されました。参加チームは、東北電力(株)チーム、(株)ユアテックチーム、工事組合・トークス混合チーム。

1試合5回または1時間程度とし、各チーム2試合ずつ行いました。工事組合のメンバーは青年部員3名、昔青年部員だった理事1名、応援団1名で、トークスさんからは3名です。人数が足りないので、他のチームから助っ人をお願いして試合は進みました。

各チームの監督の巧みな作戦、珍プレーに笑いが起こり、野次が飛び、好プレーには歓喜の

声飛び交い「こんなにお腹が痛くなるぐらい笑いながら試合をしたのは初めて!」と、高校球児の青年部員の一言に思わずうなずきました。

試合の終盤戦になると、各チーム本気モードに突入。白熱した試合が続きました。

試合結果は、1位工事組合・トークスチーム、2位(株)ユアテックチーム、3位東北電力(株)チームでした。

試合終了後は、皆さんの労をねぎらい懇親会が開催されました。酒のつまみには事欠かなかったのではないのでしょうか?

電気工事関係に従事する事業所が一堂に会して、コミュニケーションを計り、健康増進に役立てられたことに感謝しております。

来年は、打倒工事組合を合言葉にリベンジに燃えているチームもいるとか……。

支部の皆様の参加をお待ちしております。



全員集合



ナイスバッティング

社会ニーズに素早く応え、人間らしく、豊かで
快適な生活環境をサポートします。



大阪ヒューズ株式会社

仙台支店

〒980-0014 仙台市青葉区本町1丁目10番3号

TEL 022(225)7577 FAX 022(225)3288

関連会社：株式会社オーエフ青森

青森県弘前市大字岩賀1丁目5番地の1
TEL0172(37)5604 FAX0172(37)5603

新 発 田 支 部

工場視察会開催

10月9日にパナソニック(株)エコソリューションズ社新潟工場を、支部組合員13名で視察いたしました。同工場見学会は県本部経営企画推進委員会合同会議で2月に実施しましたが、参加者より大変有意義であったとのことで、支部組合員に呼びかけ開催したものです。

はじめに担当者より説明を受けた後、工場内を視察いたしました。製造ラインや工場内のレイアウトはムダがなく、さすがに日本有数の家電メーカーと感心しました。また、自社製作する金型製造現場は仕上げ行程作業中で、工員の技能を大変興味深く拝見しました。やはり「百

聞は一見に如かず」と感じ入りました。

その後の質疑応答ではLED蛍光灯に関する質問が多く、製造担当、販売担当より説明いただき参考となりました。

視察終了後、岩室温泉「大橋の湯」にて懇親会を開催し親睦を深めました。

当支部では、10数年前から参加者減少により組合員の旅行を開催しておらず、組合員が集う機会は新年会と総会だけで、組合員が参加できる機会を設けようと今回の企画となりました。参加組合員の方々には好評で、次年度以降も継続していく予定です。



視 察 会



担当者の説明

情報伝送システム企業へ

新築住宅のテレビ受信のスタンダード **平面アンテナ + マルチブースター**

「アンテナからテレビまで」ワンストップソリューションでトータルサービスをお届けします。

日本の家を美しく、アンテナは平面に。

アンテナ受信 or ケーブルテレビ受信 どちらにも対応可能

特許出願中 新設計の「カンタン取付金具」で **取付時間 約 1/2** 省施工 1/2

20素子相当 強・中電界用 UAH800

25素子相当 中・弱電界用 UAH900

スイッチ1つでアンテナとCATV受信切替可能

CS/BS-IF・UHF・CATVブースター CUW30L1

CS/BS・UHF・VHF・CATV対応 屋外用分配器シリーズ

環境と人にやさしい **DXアンテナ株式会社** www.dxantenna.co.jp

新潟営業所 TEL(025) 276-2166 (代) 〒950-0822 新潟市東区新潟山2丁目1番14号

県青年部

平成24年度 移動理事会・勉強会を開催！

県青年部（品田史夫会長）は、10月19日に十日町松之山温泉 ひなの宿「ちとせ」にて移動理事会、各委員会、勉強会を開催し、親会の小林理事長、県青年部理事・監事・顧問・陪席27名、事務局2名の計30名が出席しました。

移動理事会では、議長に久保田一副会長（新潟支部）を選出し、下記議案について審議を行いました。

〔第1号議案〕 創立30周年記念事業結果報告について

〔第2号議案〕 収支中間報告について

〔第3号議案〕 青年部会則の変更並びに陪席制度の廃止について

〔第4号議案〕 平成25・26年度のスポーツ大会及び移動理事会開催支部について

移動理事会と各委員会終了後、勉強会が行われました。勉強会では、昨年度、品田会長が各

支部青年部を訪問した際に寄せられた親会や県青年部及び他団体等への要望事項について、小林理事長よりご回答ののち、活発な意見交換・情報提供が交わされました。

勉強会終了後は地元十日町支部青年部会員の皆様からのご参加いただき、創立30周年記念事業の慰労も兼ねた懇親会を開催し、十日町松之山の地で大いに交流を深めました。



青年部移動理事会



企業繁栄と

= 豊かなセカンドライフへの橋渡し =

東北七県電気工事業に従事する方々のよりよい福祉の向上を目指す。

東北七県電気工事業厚生年金基金

理事長 小林 功

〒984-0074 宮城県仙台市若林区東七番丁 157 番地

TEL 022-221-4415 FAX 022-224-6843

燕支部青年部

ボランティア活動を実施！

みなさん、こんにちは燕支部青年部です。毎日、天候の悪い中お仕事お疲れ様です。

また、県青年部創立30周年記念大会は大成功おめでとうございます。記念大会のプレゼン発表では、我が燕支部青年部のPRビデオは必ず優勝するものと信じておりましたが、大人の事情により優勝を逃してしまい日々悔やみ、あれほどの超大作が認められない社会の仕組みに憤りを感じて過ごしております。

さておき、燕支部青年部では11月にボランティア活動としまして、西蒲区（旧岩室村）の産業まつりに合わせて「高所作業車・乗車体験」を実施致しました。

当日は老若男女の方々に乗車していただき、空の旅を味わっていただきました。特に、お子さんたちには大変喜ばれ何回も乗る子、大喜びでテンションMAXな子がほとんどでした。

しかし中には、親御さんに半ば無理やり乗せ

られ、終始無言状態で降りた瞬間泣き出す子もおり、会場は最初から最後まで大賑わいでした。

ここだけの話ですが、お子さん何名かには「将来、電気屋になるか？」とスカウト活動もあったようです。

いずれにせよ、これからの未来を支える子供達。その子達の笑顔を作ることができ、また、電気屋さんに少しでも興味を持ってもらうことができたのは、本活動をするにあたり十分な意義があったと思います。

今後も、明るく元気な燕支部青年部を目指し、支部員一丸となって精進していく所存でございます。



長岡支部青年部

新電商長岡支部青年部交流会

11月30日、今回初めて新潟県電機商業組合長岡支部（以下、新電商長岡支部）青年部さんとの交流会を行いました。

昨年度より長岡支部では、新電商長岡支部さん・長岡市電設業協会さんと連名で長岡市に対し要望書を提出したり、長岡市主催の「ながおか暮らしとエネルギー展」では、当組合・新電商長岡支部さん・他三団体とで開催したりと繋がりを持つようになりました。

新電商長岡支部青年部さんは、昨年度発足し現在28名で活動をしており発足間もない為、当青年部からの交流会要請を高橋部長様が当青年部OBでもあることから快く引受けて頂き、今回の開催となりました。

今回は21名の参加で当青年部から「各職連合ソフトボール大会・イルミネーション事業」等を共催できるのではないかと提案したところ、新電商長岡支部青年部さんからは前向きな返答を頂き有意義な話し合いが行えたと思います。

今年の当青年部新年会には、高橋部長様に参加して頂く予定ですので今後より良い関係を築いて参りたいと思います。



小千谷支部青年部

キーワードは「ECO」

昨年に引き続き小千谷支部青年部では、11月30日に勉強会を開催しました。今回は、より多くの方々にその内容を役立ててほしいということで青年部員に限らず声をかけ、小千谷支部全体から参加して頂きました。

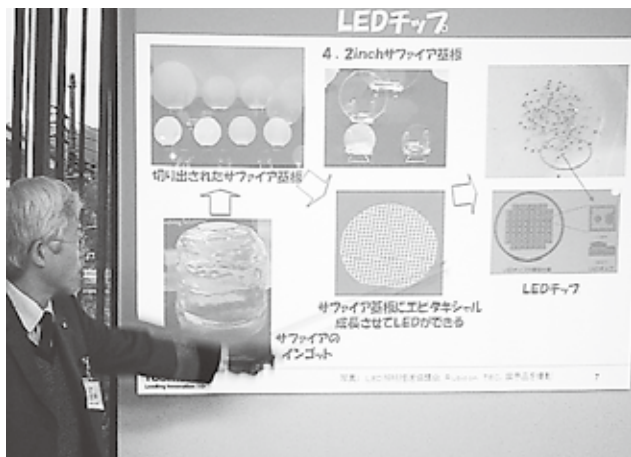
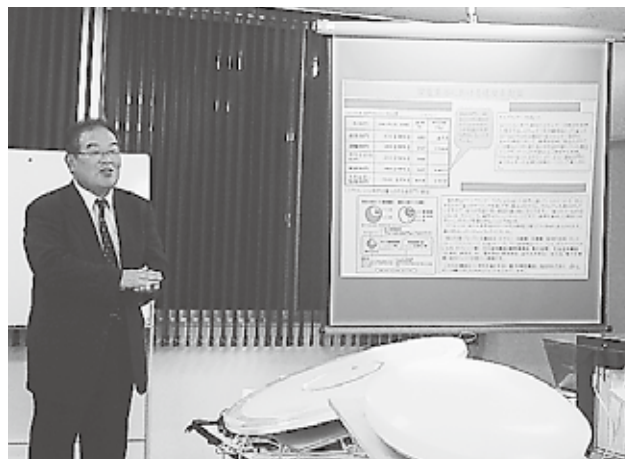
まず最初は東芝ライテック(株)照明事業部より講師をお招きし「LED照明を正しく知って賢くお勧め」というタイトルで講義をして頂きました。LED照明の基礎知識（発光原理・製造方法など）、従来の蛍光灯・電球との性能や経済性の比較（LED照明の特徴・優位性など）、今後の性能向上・コスト削減の予測、etc、と多岐にわたる内容でお話して頂きました。

次は、東北電力(株)長岡営業所お客様提案課より「認定低炭素住宅制度について」というテーマです。2020年に義務化されるこの制度は、現在国内で消費されている全エネルギーの中でなかなか削減の進まない一般家庭について、住宅の断熱性、冷暖房・給湯設備、照明器具など、それぞれの省エネ度（低炭素化性能）を数値化し一定の性能以上とならなければ新築時の確認申請がでないという内容で、今までの規制より具体的に住宅のエネルギー消費の基本性能について詳しく定めたものになっています。この中には、太陽光発電があると性能評価が高い、ガスや灯油の給湯・暖房設備よりエコキュート・

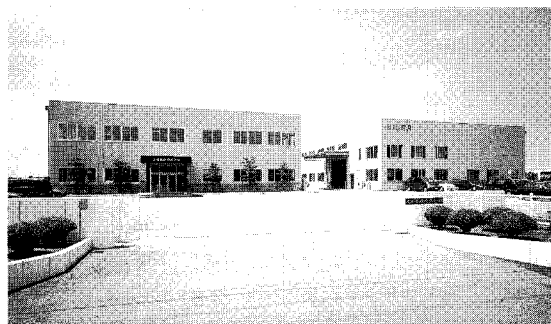
ヒートポンプエアコンの方が性能評価が高い、など我々の業界が今後活かすべき内容も数多く含まれています。

どちらのテーマも昨今、喫緊の課題となっている「ECO（低炭素化）」に貢献する内容で、我々の業界として知っておかねばならない情報であると考え今回のような勉強会を開催してみました。

大げさな言い方になるかもしれませんが、我々の業界をあげて環境性能の高い仕事をする事で、社会、そして地球環境に貢献し明るい未来を築いていきたいものです。



先進技術による
配電盤と電気工事



東港工場

三浦電機株式会社
代表取締役 小名隆一

本社 新潟市東区錦町1-18 TEL (025) 274-0381
 FAX (025) 274-0385
 柏崎営業所 柏崎市三和町3-40 TEL (0257) 24-3739
 東港工場 新潟市北区島見町3399-10 TEL (025) 255-4201

平成25年度 消防関係試験実施計画

(財) 消防試験研究センター 新潟県支部

1. 危険物取扱者試験実施計画

(1) 試験日、受付期間、試験の種類及び試験場所

試験日	受付期間		試験の種類	試験場所
	電子申請	書面申請		
H25. 5. 18 (土)	H25. 4. 1 (月) ～ 4. 14 (日)	H25. 4. 4 (木) ～ 4. 17 (水)	乙種 第1～6類 丙種	新潟市 長岡市 上越市 新発田市 三条市
H25. 7. 14 (日)	H25. 5. 24 (金) ～ 6. 9 (日)	H25. 5. 27 (月) ～ 6. 12 (水)	甲種 第1～6類 乙種 丙種	新潟市 長岡市 上越市 佐渡市
H25. 9. 15 (日)	H25. 7. 19 (金) ～ 8. 4 (日)	H25. 7. 22 (月) ～ 8. 7 (水)	甲種 第4類 乙種 丙種	新潟市 長岡市 上越市
H25. 11. 17 (日)	H25. 9. 21 (土) ～ 10. 6 (日)	H25. 9. 24 (火) ～ 10. 9 (水)	甲種 第1～6類 乙種 丙種	新潟市 長岡市 上越市
H26. 3. 8 (土)	H26. 1. 11 (土) ～ 1. 26 (日)	H26. 1. 14 (火) ～ 1. 29 (水)	甲種 第1～6類 乙種 丙種	新潟市 長岡市 上越市

2. 消防設備士試験実施計画

(1) 試験日、受付期間、試験の種類及び試験場所

試験日	受付期間		試験の種類	試験場所
	電子申請	書面申請		
H25. 6. 9 (日)	H25. 4. 12 (金) ～ 4. 28 (日)	H25. 4. 15 (月) ～ 5. 1 (水)	甲種 第1～5類 乙種 第1～7類	新潟市 長岡市 上越市
H25. 10. 20 (日)	H25. 8. 23 (金) ～ 9. 8 (日)	H25. 8. 26 (月) ～ 9. 11 (水)	甲種 特類 甲種 第1～5類 乙種 第1～7類	新潟市 長岡市 上越市
H26. 2. 22 (土)	H26. 1. 3 (金) ～ 1. 19 (日)	H26. 1. 6 (月) ～ 1. 22 (水)	甲種 第1～5類 乙種 第1～7類	新潟市 長岡市 上越市

(財) 消防試験研究センター 新潟県支部

※受験願書、免状の書換え申請書は、支部及び県内の消防署で3月中旬頃から配布をする予定です。
※詳細については、下記にお問い合わせ下さい。

〒950-0965 新潟市中央区新光町10-3 技術士センタービルⅡ 7階 703号

TEL 025-285-7774 FAX 025-211-7011 <http://www.shoubo-shiken.or.jp>

新潟県電気工事工業組合担当による 第一種電気工事士定期講習の開催について

新潟県電気工事工業組合担当による第一種電気工事士定期講習を下記により開催します。

受講時期に合わせて受講対象者のご自宅へ（独）製品評価技術基盤機構より委託された（財）電気技術講習センターより直接「講習申込書」と「会場一覧表」が郵送されます。

住所等変更のあった方でまだ変更手続きをしていらっしゃらない方は、変更手続きが必要となりますのでご連絡下さい。

前回県電だよりでもご案内しましたとおり平成25年度より講習制度が変わります。

当組合が所属します『（一財）電気技術者試験センター』に登録していただいている方々には、当団体より今までどおり講習会を受講すべき時期になりましたら講習申込書が届きます。ご登録いただいていない方にはご案内がいきませんので必要な方は当団体に登録をお願いいたします。

【問い合わせ先】

新潟県電気工事工業組合 〒951-8068 新潟市中央区上大川前通 6-1203 TEL 025-229-4101

平成24年度 第一種電気工事士定期講習会開催

開催日	会場	受付期間
平成25年 1月22日（火）	新潟ユニゾンプラザ 4階 大研修室	受付終了 （空きあり）
2月19日（火）	新潟ユニゾンプラザ 4階 大研修室	
3月5日（火）	新潟ユニゾンプラザ 4階 大研修室	

■新潟ユニゾンプラザ 新潟市中央区上所 2-2-2 TEL 025-281-5511

平成25年度 第一種電気工事士定期講習会開催（予定）

開催日	会場	受付期間
平成25年 5月12日（日）	燕三条地場産センターメッセピア 5階 総合研修室	平成25年 1月下旬予定
5月14日（火）	新潟ユニゾンプラザ 4階 大研修室	

■新潟ユニゾンプラザ 新潟市中央区上所 2-2-2 TEL 025-281-5511

■（財）燕三条地場産業振興センター メッセピア 三条市須頃 1-17 TEL 0256-32-2311

組合員の異動

平成24年10月～平成24年12月理事会承認分

日付		支部	
H25. 3. 31	脱退	新潟	新成電設工業
H25. 3. 31	脱退	新潟	(有)中村電機工業
H25. 3. 31	脱退	柏崎	マルサン電業社

組合員の変更

平成24年10月～平成24年12月組合提出分

支部	事務所	変更箇所	変更前	変更後
新潟	(株)開聞興業	代表者	田中宏嗣	田中洋介
	(株)小林電機マシン	住所	〒950-3134 新潟市北区新崎2丁目8-2	〒950-3134 新潟市北区新崎2丁目7-76
	(株)東光クリエート新潟営業所	代表者	長谷川春雄	川村博昭
	(有)広電工事	代表者	広野健二郎	関口哲裕
		住所	〒950-1135 新潟市江南区曾野木2丁目1-19	〒950-1135 新潟市江南区曾野木2丁目5-21
(株)雅	事業所名	(有)雅デンキ	(株)雅	
新津	東武電機商会	事業所名	(有)東武電機商会	東武電機商会
		代表者	高内十四英	高内利明
三条	(株)いわふち電気	事業所名	いわふち電気	(株)いわふち電気
		代表者	岩渕栄松	岩渕輝明
燕	(有)岩室電機商会	住所	〒953-0125 新潟市西蒲区和納3679	〒953-0125 新潟市西蒲区和納1丁目6-23
柏崎	十和田電気	代表者	和田保起	和田敦
魚沼	(株)真島電気店	代表者	真島慎一	高橋賢也
佐渡	(有)武田電設	住所	〒952-0014 佐渡市両津湊18	〒952-0015 佐渡市住吉80

保険って?!

～ Donna ☆ Konna ～

「全日電工連 グループ共済制度」

平成25年3月1日更新をむかえます!

3月1日付(保険始期)の「ご契約・変更」等は、平成25年1月18日迄に
お手続きをお願いいたします。

～保障内容～

- ①死亡(死亡保険金)
- ②不慮の事故による死亡(死亡保険金+災害保険金)
- ③不慮の事故による障害(障害給付金)
- ④不慮の事故による入院(入院給付金)

制度の特色と利点

- ◎事業主および従業員の遺族保障に役立ちます。
- ◎団体一括加入の制度なのでお手頃な掛金で高額の保障が得られます。
- ◎契約は1年ごとに更新しますので、社会・経済情勢の変化にも対応できます。
- ◎契約更新日は毎年3月1日です。
- ◎健康で正常に勤務している方であれば、簡単な告知のみでお申込みいただけます。
- ◎毎年収支計算を行い剰余金が生じた場合は、配当金が支払われます。(ただし、保険期間の途中で脱退された方には支払われません。)
※配当率は支払時期の前年度決算により決定しますので、将来支払われる配当金額は現時点では確定しておりません。また、支払保険金の多寡などにより配当金は大きく変動します。
- ◎掛金は、損金または必要経費に算入できます。

全日電工連 平成25年度版

グループ共済制度のご案内
(災害保障付 団体定期保険)

制度の特色と利点

- ◎事業主および従業員の遺族保障に役立ちます。
- ◎団体一括加入の制度なのでお手頃な掛金で高額の保障が得られます。
- ◎契約は1年ごとに更新しますので、社会・経済情勢の変化にも対応できます。
- ◎契約更新日は毎年3月1日です。
- ◎健康で正常に勤務している方であれば、簡単な告知のみでお申込みいただけます。
- ◎毎年収支計算を行い剰余金が生じた場合は、配当金が支払われます。(ただし、保険期間の途中で脱退された方には支払われません。)
※配当率は支払時期の前年度決算により決定しますので、将来支払われる配当金額は現時点では確定しておりません。また、支払保険金の多寡などにより配当金は大きく変動します。
- ◎掛金は、損金または必要経費に算入できます。

ご記入にあたっては、4～7ページ記載の「契約概要・注意喚起情報(重要事項のお知らせ)」および「往復生命からのお知らせ」を必ず確認のうえ、申し込んでください。

【個人情報取扱いについて】
当会では、この取扱いに基いて入手する個人情報を引受保険会社に提供します。また、全日電工連は、入手した個人情報について、この保険の事務手続き以外には使用いたしません。取扱いの内容につきましては、加入申込書等取扱要領をご確認ください。

全日本電気工事業工業組合連合会
〒100-0014 東京都港区芝0-11 全日電工連会館1F TEL 03-5232-5881 FAX 03-5232-5855
E-MAIL: zennin@cnl.or.jp

編集発行：新潟県電気工事工業組合

〒 951-8068

新潟市中央区上大川前通 6 番町 1203 番地

<管理部門> TEL 025 (229) 4101

<資材部門> TEL 025 (229) 1586

印 刷：株式会社 大創

謹賀新年

快適な暮らしは節電から

自然災害や非常事態はいつ起こるか分かりません。
万が一に備え、普段から節電を心がけましょう。

新潟県電気工事工業組合